



MP RACING

SUPER TAIKYU RACE in OKAYAMA

PIRELLI SUPER TAIKYU SERIES 2020 ROUND.2

カテゴリー : ピレリスーパー耐久シリーズ 2020 ST-X クラス
 エントラント : MP Racing
 カーナンバー : 9
 マシン名称 : MP Racing GT-R
 ドライバー : JOE SHINDO・柴田優作・影山正美・井上恵一

公式予選 A Dr. : 1' 32.580 (ST-X クラス 5 位)
 公式予選 B Dr. : 1' 30.055 (ST-X クラス 4 位)
 公式予選 (A/B 合算) : 3' 02.635 (ST-X クラス 5 位)
 公式予選 C / D Dr. : 1' 31.524 (ST-X クラス 3 位)

決勝 : 総合 / ST-X クラス 3 位
 (3:01' 47.885 / 109 周)

大会名称 : ピレリスーパー耐久 2020 第 3 戦
 SUPER TAIKYU RACE in OKAYAMA
 レース時間 : 3 時間
 開催地 : 岡山国際サーキット (岡山県)
 開催日 : 2020.10.31~2020.11.1
 天候 : 晴れ (10.31) 晴れ / 曇り (11.1)
 総入場者数 : 2100 人 (10.31) / 4600 人 (11.1)

NILZZ
RACING FACTORY

nismo

MOTUL

CURIOSITY Ltd.

PIRELLI



スーパー耐久第3戦『SUPER TAIKYU RACE in OKAYAMA』が10月31日から11月1日にかけて開催され、MP Racingは今回もJOE SHINDO、柴田優作、影山正美、井上恵一のドライバーカルテットで参戦した。

本来であれば2020年の最終戦として開催される予定であったが、コロナウイルス蔓延によるスケジュール変動によりシリーズ第3戦として開催、前半戦最後のレースとして今後のチャンピオンシップの動向を伺う上での重要なレースとなる。

前回の菅生大会同様、レース時間は最短の3時間で行われ、2グループに分けての決勝レース制となった岡山大会。今後のチャンピオンシップを競う中で重要な前半戦最後のレースに臨んだ。

10月31日(土) 予選

爽やかな秋空が広がる岡山国際サーキット。

この日はST-4/5クラスで構成されるグループ2の予選/決勝が行われる為、MP Racingの参戦するST-Xクラスは9時35分からの予選のみの出走となる。

まずはST-X/1クラスのAドライバー予選。JOEが1分32秒580、続いて行われたBドライバー予選で柴田が1分30秒055をそれぞれ記録し、合算の結果ST-Xクラス5番手からのスタートが決定した。

C/Dドライバーはそれぞれが決勝に向けた準備を行い、影山は燃料最大搭載時のマシンの確認、井上はタイヤのスクラブと短い時間の中で役割を分担し、決勝レースに向けての準備を整えた。



11月1日(日) 決勝

予選日に引き続き好天に恵まれた決勝レース。MP Racing は JOE がスタートドライバーを務めた。1 週のローリングラップを終え、13 時 33 分 40 秒にスーパー耐久第 3 戦グループ 1 の決勝レースがスタートした。

5 番手スタートの JOE は後方より迫る 81 号車 GT-R の猛追を凌ぎ、ポジションを落とす事なく自身のスティントを完走。ジェントルマンドライバーの規定乗車時間をクリアした為、MP Racing GT-R は 29 周目にピットインを行う。

第 2 スティントは柴田が担当。ST-X クラス 4 位で復帰した柴田はロングスティントを担当。好ペースで周回を重ねた柴田は 70 周目に総合首位にまで順位を上げ、78 周目にこのレース最後のピットインを行う。

柴田のスティント中、幾度と無線でタイヤの状況を確認。

柴田は『フロントタイヤは最後まで保つ。リアタイヤの交換だけで最後まで保つと思う。』と判断。これにより MP Racing は 2 回目のピットストップは給油とリアタイヤのみ交換を行い、素早くコースへ復帰させた。

3 位で復帰した第 3 スティント担当の影山は、2 回目のピットストップの間に先行された 81 号車 GT-R とのギャップを詰める為、ラストスパートをかける。

しかし影山の猛追も順位を上げることは叶わず。ST-X クラス 3 位でチェッカーを受け、前戦菅生大会に続いて今回も表彰台の一角に登壇した。



今回も 3 位表彰台という結果に終わり、最低限の目標は達する事ができて安堵しております。
しかしながらシリーズを戦い抜く上でやはり今まで以上の成績が求められるのは事実であります。
シリーズも折り返しを迎え、更に白熱した展開になると思います。
皆様からの一層のご支援、ご声援が我々の力となります。
これに応えるために引き続き我々 MP Racing は一層頑張っていきます。引き続き宜しくお願い致します。

